

Press release

狭山市役所本庁舎にJクレジットを活用したカーボンオフセット都市ガスを導入

武州ガス株式会社（社長：原 敏成、以下「武州ガス」）は、包括連携協定*¹を締結している埼玉県狭山市（市長：小谷野 剛）と連携し、2025年4月より狭山市役所本庁舎において、Jクレジット*²を活用した「カーボンオフセット都市ガス」*³を導入しました。本取り組みは、埼玉県内の自治体本庁舎として初の事例*⁴となります。

今回の導入により、狭山市役所本庁舎では、年間使用量約9万m³の都市ガス利用に伴う二酸化炭素(CO₂)排出量を全量オフセット（相殺）します。これにより、年間で約185トン-CO₂の削減が見込まれています。

さらに、狭山市役所本庁舎で昨年度までにガス吸収冷温水機（ナチュラルチラー）756kW×2台を更新し、省エネルギー化を推進してきました。これに続き、今回の「カーボンオフセット都市ガス」の導入を通じて、さらなるCO₂削減が進められる予定です。

武州ガスは、今後も地域社会とともに持続可能な未来を目指し、環境負荷の低減に貢献するさまざまな取り組みを進めてまいります。

*1 [狭山市における「脱炭素のまちづくりに向けた包括連携協定」を締結（2022年3月30日発表）](#)

*2 Jクレジットは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂排出削減量、または適切な森林管理等によるCO₂吸収量を「クレジット」として国が認証する仕組みです。これにより、クレジット購入者は自身の事業等で排出したCO₂をオフセットすることが可能となります。

*3 カーボンオフセット都市ガスとは、カーボンクレジットを活用したガスのオフセットメニューの総称をいいます。

Jクレジットを活用したカーボンオフセット都市ガスは、SHK制度においてCO₂の調整後排出係数をゼロとすることができます。（全量オフセットする場合）

*4 武州ガス調べ



<本件に関するお問い合わせ>
埼玉県川越市東田町5番地18
武州ガス株式会社
担当：特需開発・CNC推進室
TEL：049-241-9001